※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科演習(地学)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　地学基礎」　（数研出版）						
副教材等	ベストフィット地学基礎　New Edition　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

演習等を通して地学の世界を眺めます。視野が拡がる感じを大切に、自発的に発展させていきましょう。
毎時「何を解明しようとしているのか」を念頭に、その解明方法を理解感銘し、その成果を把握するとともにさらに発展させるべきことは何かを考えましょう。明らかにされた知見はその都度覚えてください。

2　学習の到達目標

（１）地学の概念や原理法則を網羅的にふりかえり、全体の理解を定着させる。
（２）２年次よりも深い演習を通じて、地球や宇宙の諸事象が互いに影響しあったシステムとしてとらえられるようになる。
（３）培われた理解が、安全な行動や持続可能な生活態度づくりに貢献する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地球や地球を取り巻く環境について，事実や状況を知り、原理・法則を理解している。また、観察や実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境に対して疑問や問題を見いだし、的確な方法で探究をおこない、望ましい結果を導きだすことができる。この活動を重ねることによって地球や地球を取り巻く環境に対する観念を深めている。	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど，科学的なものの見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	活動する地球（前半）	地球の構造	a:地球の形の特徴と大きさ、および地球内部の層構造とその状態について理解し，知識を身に付けている。地球の形と大きさあるいは地球内部の層構造について観測データなどを収集処理し，その結果を的確に記録，整理している。 b:観察や測定の結果などから，地球の形の特徴と大きさについて、および地球の内部には層構造がありその状態が異なることについて考察し，導き出した考えを表現している。 c:地球の形と大きさ、地球内部の層構造について関心をもち意欲的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	実習状況
	活動する地球（後半）	プレートの運動 地震 火山	a:大地形の形成、火山活動、地震発生といった現象がプレートの運動によって統一的に説明できることについて理解し，知識を身に付けている。火成岩や変成岩の分類について正確に理解し判断することができる。 地震等災害について、情報解析方法を習得するとともに、その結果を実践的に捉えることができる。 b:プレートの分布と運動の様子や，それによる大地形の形成、火山活動と地震の発生の仕組みについて考察し，動的に捉えられている。 c:プレートの運動および火山活動と地震について関心をもち，災害回避等実践に向けて意欲的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	実習状況
２学期	移り変わる地球	地層の形成 古生物の変遷と地球環境	a:地層が形成される仕組み、地質構造、堆積岩、および古生物の変遷と地球環境の変化について理解し，知識を身に付けている。地層の形成と地質構造および古生物の変遷と地球環境について観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理している。 b:地層が形成される仕組みと地層や岩石に見られる地質構造について、および地質時代の諸事象が記録されるいとなみ等について、総合的に考察し，動的に捉え理解することができる。 c:地層の形成と地質構造および古生物の変遷と地球環境について関心をもち，意欲的に探究しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	実習状況

※令和４年度以降入学生用

	大気と海洋	地球の熱収支 大気と海水の運動	a:大気の構造と地球全体の熱収支、大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解し，知識を身に付けている。地球の熱収支および大気と海水の運動について基本的な理解と知識を身につけている。 b:大気構造、地球全体として太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量がつり合っていること、緯度によって熱収支が異なることで生じる地球規模の熱輸送等について理解し、動的に捉え、平衡計算を通して考察することができる。 c:地球の熱収支および大気と海水の様子や運動について関心をもち意欲的に探究しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	実習状況
２学期～３学期	地球の環境	地球の環境 日本の自然環境	a:地球環境の変化、および日本の自然環境の恩恵や災害など人間生活と関わりにおいて理解し，知識を身に付けている。 b:地球規模の自然環境の変化およびわが国における地学現象の災害と恩恵について、人間生活との関連を考察し，導き出した考えを表現している。地球全体あるいは日本における自然環境について観察，実験や観測データなどの収集，処理を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理している。 c:地球環境の変化と日本の自然環境について関心と問題意識をもち，意欲的実践的に探究をする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	実習状況
	太陽系と宇宙	太陽系の天体 太陽 太陽系の誕生と現在の地球 宇宙の誕生	a:太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び恒星としての太陽の進化、および宇宙の誕生と銀河の分布について理解し，知識を身に付けている。太陽系の中の地球、太陽や恒星、および宇宙のすがたについて、観測データなどを収集，処理し，その結果を的確に記録整理している。 b:地球が太陽系の一員として誕生し生命を生み出す環境をもつ惑星となった過程、恒星の一つである太陽に関し表面付近に見られる現象エネルギー源及び進化に関する考察，および恒星などの集団である銀河が分布している宇宙の誕生と現在のすがたについて、考察し導き出した考えを表現している。 c:太陽系の中の地球、太陽と恒星、宇宙のすがたについて関心をもち，意欲的に探究にとりくむ。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	実習状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度